



鳥取港賑わいづくり基本計画

鳥取港賑わいづくり検討会

# 構成

1. 賀露地区の特徴
2. 鳥取港の歴史
3. これからの鳥取港賑わいづくり
4. 将来ビジョンと重点目標
5. 留意事項

**【参考資料】**

# 1. 賀露地区の特徴

## 【みなとまち賀露】

- 賀露地区は古くから「みなとまち」として、因幡の国の玄関として栄えてきました。
- 特に天文14年(1545)に山名誠通が久松山に居城を築いて以後、城下町鳥取とともに賀露のみなとは物資の集散地として繁栄を遂げていきました。
- 特に江戸時代では、北海道と関西間を日本海経由で結ぶ北前船が多数往来し、大きく賑わいました。
- 賀露のみなとは明治初期まで商港として賑わい、国防上も大事にされましたが、明治以降、陸路が整えられるにしたがって、人力車や馬車がとって代わり、商港としての機能は急減し、その機能を失うとともに、賀露の住民は活路を漁業に求めるようになりました。
- 大正終わりから昭和のはじめにかけて、鳥取県はイタヤ貝の豊漁に恵まれました。イタヤ貝は小型のホタテ貝で、身は同種のものの中では最も美味とされ、特に貝柱は中華料理の食材としても珍重されて、国内だけでなく上海や香港へも輸出されていました。
- このときは、長尾岬あたりを中心に、東は岩美郡から西は淀江地方まで、日本海沿岸数十キロにわたり、イタヤ貝が海底一面に大発生したと言われています。
- 当時の賀露には多くの加工場があり、各地で身剥きの作業が行われていました。そして、作業が終わると、貝殻は船着き場のあたりに捨てられました。
- 現在は、漁業の近代化も進み、沿岸漁業では鳥取の夏を代表する白イカや岩ガキ、沖合漁業ではアカガレイやハタハタなどが水揚げされています。
- 特に、鳥取港では鳥取の冬を代表する松葉ガニの水揚げがされており、活気に溢れたセリが行われるなど、県東部地域における漁業基地となっています。



## 【吉備眞備と賀露】

- 聖武天皇・天平勝宝6年(754)2月、遣唐副使であった吉備眞備公が帰朝の際、風浪の難に遭遇され、ようやくのことで賀露の「鳥ヶ島」に漂着されたと伝えられています。
- 吉備公は助けてもらったお礼として、村賀露の人に囲碁を教えたと言われています。
- そのお陰か、賀露では昔から囲碁の対局が盛んに開催されており、平成20年から「吉備眞備杯奉納囲碁大会」が開催されています。



## 【賀露に伝わる民俗行事】

- 賀露に伝わる「ホーエンヤ祭」は、漂着された吉備公を助け、神社にお連れし、丁寧にもてなしたという言い伝えをお祭りの形で今に伝えているもので、筏で「奉曳」(ほうえい)したことから「ホーエンヤ祭」と呼ばれています。
- 2年毎に大祭(みこし海上行列)が行われ、住民が一体となった盛り上がりを見せます。
- 厳しい自然と共存するみなとまちには、自然とたくましさ溢れる気風が生まれ、その気風がもたらしたものに、宮相撲があります、賀露地区では毎年相撲大会が開催され、活躍した力士の「力士塚」が17基もあります。
- 現在では、生後1歳前後の赤ちゃんが参加する「赤ちゃん泣き相撲大会」に姿を変え、古い民俗行事の伝統を受け継いでいます。



## 2. 鳥取港の歴史

- 鳥取港は県東部にある鳥取市街地の北西6km、一級河川千代川の河口に位置しています。
- かつては、賀露として知られ、戦国時代には毛利氏の因幡への進出の際に使用され、秀吉の鳥取攻めにも重要な拠点として登場しています。
- 本港の改修は、古くから試みられていましたが、安永元年(1771)の修築は不成功に終わり、明治になっても交通運輸の面からその必要性が議論されてきましたが、防波堤を築造して河口の安定を図って終わっている。昭和に入っても、千代川の改修が本格化し河口処理問題が検討されたが、戦時下のことで計画だけに留まりました。
- 昭和28年には地方港湾の指定を受け、漁船を対象にした港湾関連施設の整備が始まりましたが、日本海の厳しい自然条件と河口港の弊害から脱却することができず、常にその機能は阻害され発展は妨げられてきました。
- 昭和50年4月に重要港湾の指定を受け、千代川河口と港湾を分離する工事に着手することになりました。河口と港湾の分離工事の完了を受け、平成2年には1万トン岸壁1バース、5千トン岸壁3バース及び危険物用地を有する千代地区が供用開始しました。
- 平成11年6月には漁業関連施設の充実を図るため整備してきた西浜地区が供用されました。また、平成14年に海鮮市場「かろいち」、平成15年にかにを中心とした体験型施設「とっとり賀露かにっこ館」、平成23年には「食のみやこ鳥取県」販売拠点施設「わったいな」がオープンし、西浜地区全体が賑やかさを増しています。
- 一方、平成16年に「鳥取・賀露みなとオアシス」に登録され、地域交流の拠点として位置づけられ、地元団体を中心とした港の活性化が進められ、夏祭りやヨット・カヌーを利用したクルージングイベントといった、地域住民が一体となった地域振興活動を行い、賑わいづくりの大きな役割を担っています。



### 3. これからの鳥取港の賑わいづくり

鳥取港が概成して以降、20年が経過し、急速な少子高齢化・漁業者の減少・高規格道路網の促進等、社会情勢が大きく変化してきました。その中で、平成14年以降にオープンした商業施設（かろいち、とっとり賀露かっこ館、わったいな）、賀露地区の飲食店、地元団体により行われる各イベント、海水浴場をはじめとする観光資源、歴史、民俗行事など、鳥取港周辺の賀露・西浜地区は、観光資源としてのポテンシャルが非常に高く、鳥取東部地区の観光拠点として、社会情勢に応じた「賑わい」が求められています。

また、鳥取港近くに位置する鳥取空港においては、国内線ターミナルと国際会館を一体化し、新たな賑わいの施設整備が行われています。空港－鳥取港連絡道路も整備され、空の駅「鳥取空港」と海の駅「鳥取港」のツインポートとしての役割も注目されています。

そこで、民間団体・地元関係者・行政機関による「鳥取港賑わいづくり検討会」により、鳥取港エリア内及び鳥取空港エリアとの連携を図りながら、以下の項目を重点目標として、各目標への将来ビジョンの設定及び基本方針を、『鳥取港賑わいづくり基本計画』として策定しました。

#### 【検討会の目的】

- 高規格道路網の整備が急速に進む中、交通結節点にある鳥取港周辺エリアが、鳥取県東中部・但馬地方の観光・交流・情報の玄関口となることを目指す。
- 鳥取空港と鳥取港の連絡道路整備による、両港のアクセス性向上・2次交通の整備・集客イベントなどの連携等により、両港エリア一帯での消費拡大と地域経済の好循環を加速化する（ツインポート化促進）。

#### 【重点目標】

- 鳥取港ならではの賑わいづくりの促進（鳥取港各地区の特色を活かした一体的な賑わいづくり）
- ツインポート化の促進（両港の強みを活かし、連携による相乗効果により、集客力をアップ）
- 集客増加や地域との交流への対応（来訪者の満足度アップ・二次交通や交通安全対策等の検討）
- 情報発信の強化（多様なメディア・人材を活用し、ターゲット毎の情報発信を検討）

# 3. これからの鳥取港の賑わいづくり

## 鳥取港賑わいづくり検討会

### 【検討会】

- 年度末頃に年1～2回開催
  - ・当年度の反省会(実施したイベントの報告、改善等)
  - ・次年度の実施内容の検討
- その他検討事項が発生した際に開催

### 【構成メンバー】

- ・交通業
  - バス協会、タクシー協会
- ・旅行業
  - 日本旅行業協会等
- ・情報発信
  - 鳥取情報文化研究所等
- ・鳥取商工会議所
- ・(一社)鳥取市観光コンベンション協会
- ・地元関係者
  - 賀露町自治、鳥取・賀露みなとオアシス、賀露みなと観光協会、賀露中央海鮮市場協同組合
  - 鳥取県漁業協同組合、(株)食のみやこ鳥取、(一財)鳥取県観光事業団
- ・鳥取港振興会
- ・行政関係
  - 国(中国地方整備局境港湾・空港整備事務所)
  - 鳥取県(観光戦略課、地域交通政策課、水産課、食のみやこ推進課、鳥取県土整備事務所、鳥取港湾事務所、空港港湾課)
  - 鳥取市(観光・ジオパーク推進課、林務水産課、交通政策課)



## 4. 将来ビジョンと重点目標

### 鳥取港賑わいづくり基本計画

- 現状における目標を設定
- 目標を達成するための基本方針を策定

#### 将来ビジョンと重点目標

共通課題：鳥取港エリア内・鳥取空港エリアとの連携

##### 将来ビジョン 1

#### 鳥取港(賀露)ならではの賑わいづくりの促進

鳥取港に集う方々の力を合わせ、鳥取港ならではの魅力を最大限に活かした『みなとまち』の創出

##### 将来ビジョン 2

#### ツインポート化の促進

鳥取砂丘コナン空港と連携を強化し、相乗効果による両港が一体となった賑わいづくりの加速化

##### 将来ビジョン 3

#### 集客増加や地域との交流への対応強化

地域住民と観光客の安全・安心を確保し、心地よく親しみやすい『みなとまち』づくりの推進

##### 将来ビジョン 4

#### 情報発信の強化

鳥取港の魅力をより多くの方に知ってもらい、わかりやすく応援してもらえるような、情報発信スタイルの探求

## 4. 将来ビジョンと重点目標

将来  
ビジョン1

### 鳥取港（賀露）ならではの賑わいづくりの促進

重点目標

鳥取港に集う方々の力を合わせ、鳥取港ならではの魅力を最大限に活かした『みなとまち』の創出

#### 基本方針

- ◎鳥取港エリアの方々が連携し、鳥取港周辺の特徴を活かした魅力づくりを推進
- ◎新たな仲間づくりによる、地域が一体となった魅力的な賑わいづくりを創出
  - ◇鳥取港周辺の歴史・文化・自然等の地域資源を体感できる取組を行うとともに、『みなとまち』全体を回遊できる仕組みを整備
  - ◇海浜地など水辺空間を活かす取組を推進
  - ◇地元特産品などを活用した新たな魅力づくりを推進



賀露白いか祭り



サンセットクルーズ

#### 取組

##### 【短期的な取組】

- ギネス認定「五輝星」を記念した“カニ押し”
- 西浜海岸を活用したビーチスポーツ大会開催
- ホタルイカ等漁業体験ツアー
- 白いか祭り等の拡充

##### 【中長期的な取組】

- 水辺を活かしたマリンスポーツの拡充
- 賀露集落を利用した歴史と文化を感じる体験
- 釣りニーズに対応した釣り環境の造成
- ビーチグランピングなどブルーツーリズムの創出

## 4. 将来ビジョンと重点目標

### 将来 ビジョン2 ツインポート化の促進

#### 重点目標

鳥取砂丘コナン空港と連携を強化し、相乗効果による両港が一体となった賑わいづくりの加速化

#### 基本方針

- ◎鳥取砂丘コナン空港との連携を強化
- ◎鳥取砂丘コナン空港と鳥取港が一体となった賑わいづくりを推進
  - ◇両港の賑わいづくりのさらなる連携を強化
  - ◇両港間の2次交通を充実
  - ◇連絡道路「かっこ空港ロード」周辺での賑わいを創出



空港フェスタ



ウォーキング大会

#### 取組

##### 【短期的な取組】

- 鳥取砂丘コナン空港と連携した共同イベントの開催
- 両港間でカニ歩きウォーキング大会の開催
- レンタサイクルの導入
- ツインポートの認知度向上

##### 【中長期的な取組】

- 両港間にシャトルバス等の整備
- 連絡道「かっこ空港ロード」沿道の観光スポットの造成
- フライ&クルーズ等両港特性を活かした取組
- 海と空のゲートウェイ機能の強化

## 4. 将来ビジョンと重点目標

### 将来 ビジョン3 集客増加や地域との交流への対応

#### 重点目標

地域住民と観光客の安全・安心を確保し、心地よく親しみやすい『みなとまち』づくりの推進

#### 基本方針

- ◎クルーズ客をはじめ、鳥取港周辺への来訪者に対するおもてなしの向上
- ◎鳥取砂丘等、鳥取県東部の観光地との広域的な連携を強化
  - ◇地域と調和し、来訪者に親しまれる『みなとまち』づくりを推進
  - ◇周辺観光地等と連携したクルーズ船寄港地としての取組を拡充
  - ◇交通アクセス等の位置的優位性を活かした集客を推進

#### 取組

##### 【短期的な取組】

- クルーズ船の寄港促進に向けたポートセールスの強化
- クルーズ船の寄港に向けた「おもてなし」体制の構築
- 鳥取港周辺の観光メニューの充実
- 受入れ施設の整備、充実

##### 【中長期的な取組】

- 来訪者と地元との交流推進
- 鳥取港周辺観光地への2次交通の強化
- 来訪者のニーズに合わせた趣向の創出
- インフラ整備の促進(南北線IC等)



クルーズ船



南北線

## 4. 将来ビジョンと重点目標

### 将来 ビジョン4 情報発信の強化

#### 重点目標

鳥取港の魅力をより多くの方に知ってもらい、わかりやすく応援してもらえるような、情報発信スタイルの探求

#### 基本方針

- ◎鳥取港周辺の賑わい情報の発信を強化
- ◎鳥取砂丘コナン空港や周辺観光地と連携した情報発信を強化
  - ◇あらゆるSNSを活用した情報を適時発信
  - ◇鳥取港周辺観光地や来訪者による魅力発信の強化
  - ◇ツインポートの強みを活かした空港からの情報発信

#### 取組

##### 【短期的な取組】

- 鳥取砂丘コナン空港で鳥取港のPR
- 鳥取港周辺観光地との連携した情報発信
- 鳥取港賑わい専用のSNS作成
- 「新しい生活様式」によるおもてなしの発信

##### 【中長期的な取組】

- 訪日観光客を意識した情報発信
- 観光案内所の設置



ツインポート周遊マップ デジタルサイネージイメージ(検討中)

## 5. 留意事項

◆計画の推進に当たっては、利用者の意見を踏まえながら、必要に応じて計画の改訂を行うなど、「鳥取港賑わいづくり推進協議会(仮称)」等による、基本計画の検証を行える組織を設け、PDCAサイクルによる継続的な取り組みを進めます。

- Plan : 設定した重点目標に対して、効果的な基本計画を策定する
- Do : 基本計画に基づく施策を実施する
- Check : 目的の達成度を通じて、基本計画の成果を検証する
- Action : 検証結果を踏まえて取組を見直すとともに、必要に応じて基本計画を改訂する

